

|      |                  |
|------|------------------|
| 製品名  | プリザーブコートS(標準仕様)  |
| 種別   | 油性2液弱溶剤形無機クリアー塗料 |
| 荷姿   | 16kg/セット         |
| 用途   | 外部壁面             |
| 適用基材 | 意匠サイディング         |

| 工程   | 材料   | 調合                  | 所要量/m <sup>2</sup> /回<br>(塗布面積/セット/回)   | 施工器具           | 塗回数 | 間隔時間<br>(23°C) | 可使用時間<br>(23°C) |
|------|--|---------------------|---|----------------|-----|----------------|-----------------|
| 事前診断 | 新築～10年程度で劣化やチョーキングが軽度の基材に施工してください。劣化の程度によっては付着不良、白化、ムラとなる可能性がありますので、施工に適さないチョーキング面等には絶対に施工しないでください。判断のつかない場合はテスト施工を実施した上で基材の吸い込みや付着性を確認してください。 |                     |   |                |     |                |                 |
| 素地調整 | ①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。<br>②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。<br>③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。                       |                     |   |                |     |                |                 |
| 上塗り  | プリザーブコートS<br>主剤<br>硬化剤<br>PXシンナー   | 14kg<br>2kg<br>0～3% | 0.12～0.16kg<br>(100～133m <sup>2</sup> ) | 刷毛<br>ウーブンローラー | 2   | 4時間以上<br>7日以内  | 6時間以内           |

## 注意事項

- 塗料の使用期限は未開封の状態です。水性製品、水溶性溶剤製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。
- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- 上塗材に艶調整品を施工する際は塗り継ぎや塗り重ねのムラに注意し、面を通して施工してください。
- プリザーブコートSは気泡の発生しやすいローラー(ハイパイルローラー等)を使用すると気泡が消えず、塗膜欠陥の要因になりますのでウーブンローラーをご使用ください。
- 溝の深いサイディングや粗面などは刷毛等を使用して塗料溜まりがないよう均一に施工してください。
- 弱溶剤形製品の取扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- チョーキングが目立つ下地は塗装しないでください。仕上がりにムラが発生し、塗装後に剥離等の原因となる恐れがあります。
- 素焼きのような多孔質のタイルやレンガタイルには施工を避けてください。
- 塗料使用の際は主剤と硬化剤の調合を守り、内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢が低下する場合があります。
- 所要量は厳守してください。所要量が少ない場合、性能が十分に発揮出来ない恐れがあります。
- 施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合は、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がりに不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- 常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けてください。
- シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染、密着不良、割れが発生することがありますので、基本的には行わないでください。やむを得ず塗装する場合は、重ね塗り適合性を十分確認の上、施工してください。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しないように養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- 素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等、本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空けて十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- 材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は安全データシート(SDS)をご確認ください。